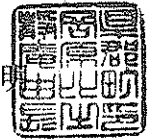




由 建 第 30 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 様

静岡県庵原郡由比町長
望 月 俊



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

このことについて平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼あり
ました件について別紙のとおり意見を提出いたします。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見書

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

・渋滞対策

東西を結ぶ生活道路は国の大動脈である国道一号バイパスの4車線しかないことから、慢性的な朝の渋滞と一度交通事故でもあったら大渋滞を引き起こし、狭隘な生活道路への流入で住民生活に支障をきたし、交通機能が著しく損なわれているため、他の道路へ迂回できるための交差点改良を推進。

・防災対策の推進

予想される東海地震対策として由比地区地すべり対策工事に着手していただいているところですが、100メートルと狭隘な平地に東西交通（東名・国一号・J.R）の大動脈が集中しており、ひとたび災害を受けると全ての東西交通が麻痺する可能性があることから、災害時の代替ルートとなり得る道路整備が必要。

・医療施設への広域的アクセスを強化

救急医療施設までの搬送時間が30分を超えると死亡率が急増するといわれております。当地区は災害及び交通渋滞などにより孤立してしまう可能性があることから、地域で安心して生活ができるよう高次医療施設等への早急・安全なアクセスを可能とする幹線道路等の整備を推進。

・大都市圏の環状道路の整備

地方から都心へ入る渋滞対策など道路交通円滑化への対応。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

・事業ごとの評価

事業の開始前に真に必要な道路か、また優先度について事業ごとに評価を徹底する。

・事業のスピードアップ

事業の特性として多数の不確定要素はあるものの「何をやっているのかわからない」「いつ出来るのかわからない」等道路利用者から批判を受けないために、事業の効果を早期に発揮させるため進捗管理の徹底を一層向上させる。

・国民の視点に立った道路行政の推進

各地域の課題に対応した道路行政への取組み

3.その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

・合併支援

現在、静岡市との合併を進めて行くところですが、合併した場合、両地域を結ぶ一般幹線道路は国一号バイパスの4車線のみであり、災害や渋滞が起きたときに迂回できる道がなく、静岡市と均衡ある発展と速やかな一体化を進めていくためには、バイパス的機能をもつ新たな道路の整備が急務となっている。